

製品名: HIF-1 β /ARNT(4C5)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM12019

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	ARNT ARNT; BHLHE2; Aryl hydrocarbon receptor nuclear translocator; ARNT protein; Class E basic
別名	helix-loop-helix protein 2; bHLHe2; Dioxin receptor, nuclear translocator; Hypoxia-inducible factor 1-beta; HIF-1-beta; HIF1-beta
遺伝子 ID	405.0
SwissProt ID	P27540
免疫原	HIF-1 β の組み換えタンパク質

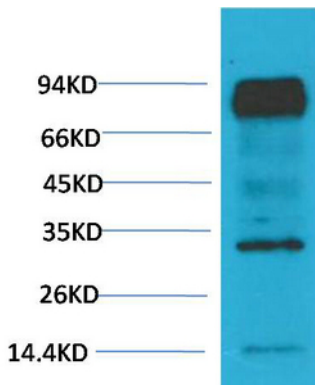
背景

この遺伝子は、基本的なヘリックス-ループ-ヘリックスドメインと2つの特徴的な PAS ドメイン、そして PAC ドメインを含むタンパク質をコードしている。コードされているタンパク質は、リガンド結合型アリール炭化水素受容体に結合し、この複合体の核への移行を助け、そこで異物代謝に関与する遺伝子の発現を促進する。このタンパク質は、低酸素誘導因子 1 による転写制御の補因子でもある。白血病において、この遺伝子座と 12 番染色体上の ETV6 (ets バリエント 6) 遺伝子の染色体転座が報告されている。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエントが生じる。[RefSeq 提供、2013 年 10 月]、機能: Ah (ダイオキシン) 受容体の活性化に必要。このタンパク質は、リガンド結合後にリガンド結合サブユニットが細胞質から核へ移行するために必要である。その後、複合体は PAH 系発がん性物質の活性化に関与する遺伝子の転写を開始する。HIF1A または EPAS1/HIF2A とのヘテロ二量体は、低酸素状態への適応応答の転写調節因子として機能する。、類似性: 1つの基本ヘリックス-ループ-ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。、類似性: 1つの PAC (PAS 関連 C 末端) ドメインを含む。、類似性: 2つの PAS (PER-ARNT-SIM) ドメインを含む。、サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要である。AHR、AHRR、HIF1A、EPAS1/HIF2A、および他の bHLH タンパク質とヘテロ二量体を形成する。TACC3 と相互作用する (類似性による)。NOCA7 と相互作用する。、

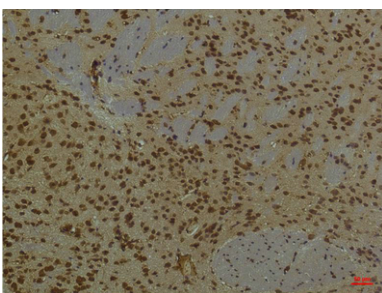
研究分野

癌の経路;腎細胞癌;

画像データ



1:2,000 に希釈した HIF-1 β /ARNT マウス mAb を使用したマウス脳組織のウェスタンブロット分析。



1:200 に希釈した HIF-1 β /ARNT マウス mAb を使用したパラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。